





資料3 園で作ったトマトを使って調理をする。

・野菜は、園で作ったトマトや大根を使う。(資料3)

・家庭や園で事前に経験させておく。

・手を添えながら切らせる。(資料4)

・火をつける様子やかまどの火の様子を見学させる。

・配膳・盛りつけと後かたづけは、手を出さないですべて自分たちの力で行わせる。



資料4 教師と一緒に野菜を切る

## イ キャンプファイヤーで先生や友だちと共に過ごすことの喜びを味わったり、自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに気付いたりする。(7月22日20:00~21:00)

○準備するもの 薪・鉄板・井桁用木材、トチ、CDデッキ、CD、懐中電灯、消火用バケツ

○子どもの様子 火を囲んでのゲームは、初めて体験する子どもたちが多かった。教師側のさまざまな演出や原先生のユーモアあふれる集団ゲーム(資料5)のおかげで自然の中で友だちと共に過ごす喜びを味わっていた。宿泊後もキャンプファイヤーで行ったレクリエーションをしたり歌を歌ったりしている子どもたちの姿を目にした。

### ○留意点



資料5 原先生とレクリエーションを楽しむ。

・夜空を見たり、虫の声を聞いたりして気持ちを落ち着かせ静かに入場させる。

・この宿泊保育をとおしてつけてもらいたい力について話す。

・今日の評価と明日への活動につながる話をする。

・火は、全員がいなくなった後で消す。

## ウ 創作活動で自主性・自律性・創造力を養う。(7月23日9:00~11:00)

○準備するもの 粘土、ボンド、ヘラ、棒、石、板、紙皿、シート、ボンド、マーカー、画用紙、リボン、新聞紙、バケツ

○子どもの様子 教師や学生の指導のもと、創造力を働かせて一生懸命作品づくりに取り組む子どもたちの姿を見ることができた。(資料6)自分なりの工夫ができる創造性と「自分でできた」という達成感がある活動であった。

### ○留意点

・川遊びや朝の散歩で材料を集めさせておく。

・子どもたちの創造力を引き出すために、手を出しすぎないように注意する。



資料6 陶芸の先生に指導していただく。

## 2 子ども・保護者の感想

(1) 子ども 自分でカレーが作れた。先生とタマネギの皮をむいて切った。

(2) 保護者 自立するチャンスを与えてくれたのではないかと思います。日頃の子どもの成長を止めるような行動を反省させられた。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

○進んでお手伝いができるようになった。(事前19%→事後53%)

○やり遂げたり、失敗したり、何回もしたりして自信や責任感、自主性を身につけた。

○未知の世界を経験することにより世界が広がった。

○今までの宿泊体験活動を見直す良い機会となった。

### (2) 課題

○点と点を結んで線の活動にする。(意識・活動の連続発展)

○目的と手段がはっきりしている活動を開発する。

○ボランティア・指導者のかかわり方を吟味する。

